

学級経営計画

令和8年度 いとすぎ学級経営計画

担任氏名 中野 一郎

<p>1. <u>学級経営目標</u></p> <ul style="list-style-type: none">・自分のからだを知り、健康回復、改善に努める。・お互いに友情を深め、思いやりの心を育む。・健康状態に応じて、自分のできることを増やす。<ul style="list-style-type: none">・めざす学級像：限られた条件の中でも、生徒のもっている力を伸ばす学級。・めざす生徒像：入院中でも、できる限りの力で自分の能力を伸ばそうとする生徒。
<p>2. <u>学級経営方針</u></p> <ul style="list-style-type: none">・生徒の病状や治療方針、生徒のニーズに応じた指導を行う。個々の精神面や心理面のケアに十分に配慮する。
<p>3. <u>学級活動</u>《集団生活や行事での生活の組織づくりや集団生活について》</p> <ul style="list-style-type: none">・目標：普段とは違う入院生活に対応するため、楽しい行事や毎日の授業、休み時間を通して、小中合同のグループ活動を随所に取り入れ、情緒の安定を図る。・方針：可能な限りいとすぎ学級の活動や、本校や生徒の前籍校の行事に参加し、交流を深め、お互いを理解しあう中で好ましい人間関係を育て、コミュニケーション能力を高める。SNS東京ルールを踏まえて、ソーシャルメディア等への取組を行う。・具体策：休み時間や自立活動の時間のカードゲームやボードゲーム、技術・家庭科の調理実習や栽培活動などの体験的学習を行う。美術の作品作りを通じ、作品展に出品することによって、いとすぎ学級への所属感をもつ。<ul style="list-style-type: none">：生徒の経験及び興味・関心大切にし、意欲的に活動できるように指導する。：前籍校復帰に向けた生活リズムの改善を考慮し、学級での対応の中にリハビリ的な活動を重視する。病室でのSNSの使用に関しても病棟と連携して指導する。：心身症や心に関係すると思われる症状、その他さまざまな疾病、さらに児童虐待や自殺が疑われる生徒に対しても配慮し、指導を行う。・その他：特に三年生については中学校卒業後の進路に向けて、学習や進路指導を充実させ、スムーズに復学できるよう指導する。
<p>4. <u>生徒理解と個別指導</u></p> <ul style="list-style-type: none">・生徒の前籍校と連絡を取り生徒理解に努め、生徒のニーズに応じた指導を行う。・病状により教室まで来られない生徒はベッドサイドで指導する。
<p>5. <u>道徳教育</u></p> <ul style="list-style-type: none">・目標（どのような道徳性を重点に育てるか）・自己肯定感を高め、感謝の気持ちや思いやりの心、向上心の育成に重点を置く。・方針（日常と道徳の時間の指導でどのように工夫するか）・授業中だけでなく、病棟での生活や教室への行き帰りなど日常の時間を利用して指導する。
<p>6. <u>学習の充実・読書・進路指導等</u></p> <ul style="list-style-type: none">・学習：病状や能力に応じ、指導内容を精選し、入院中も学力維持、向上をめざす。・読書：病室での時間に読書を楽しめるように、本の紹介と個別指導を行う。・進路：医療関係、保護者、関係機関等との連携を図り、自己理解を深める指導を行う。